

# 事故処理基準

令和 6年 3月 10日改正

ハウステンボス株式会社

## 目 次

第1章	総 則	・・・・・・・・・・ 1
第2章	事故発生時の通報	・・・・・・・・・・ 1
第3章	事故の処理等	・・・・・・・・・・ 5

## 第 1 章 総 則

(目的)

第 1 条 この基準は、安全管理規程に基づき、当社の運航中の船舶に係る事故等の処理に関し、安全管理規程の運用上の基準を明確にすることにより、事故処理を迅速かつ適切に実施し、人命の安全の確保と損害の局限を図るとともに、事故の原因等を究明し、将来の船舶の運航の安全に資することを目的とする。

(事故等の範囲)

第 2 条 この基準において「事故」とは、当社の運航中の船舶に係る (1) ~ (4) に掲げる事象をいい、「事故等」とは (5) の事態 (以下「インシデント」という。) をいう。

- (1) 旅客、乗組員又はその他の乗船者の死亡、行方不明、重大な負傷もしくは疾病、又はその他の人身事故 (以下「人身事故」という。)
- (2) 衝突・乗揚げ・火災・浸水・漂流・行方不明・重大な機関故障、又はその他の救助を必要とする船舶の海難事故
- (3) 航路の障害、港湾施設の損傷又は荒天による運航の阻害
- (4) 強取 (乗っ取り)・殺人・傷害又は暴行・脅迫等の不法行為による運航の阻害
- (5) 前記 (1) ~ (3) の事象に至るおそれの大きかった事態

(軽微な事故への準用)

第 3 条 本事故基準は、必要に応じ前条に定める事故以外の当社の運航中の船舶に係る事故に準用するものとする。

## 第 2 章 事故発生時の通報

(非常連絡)

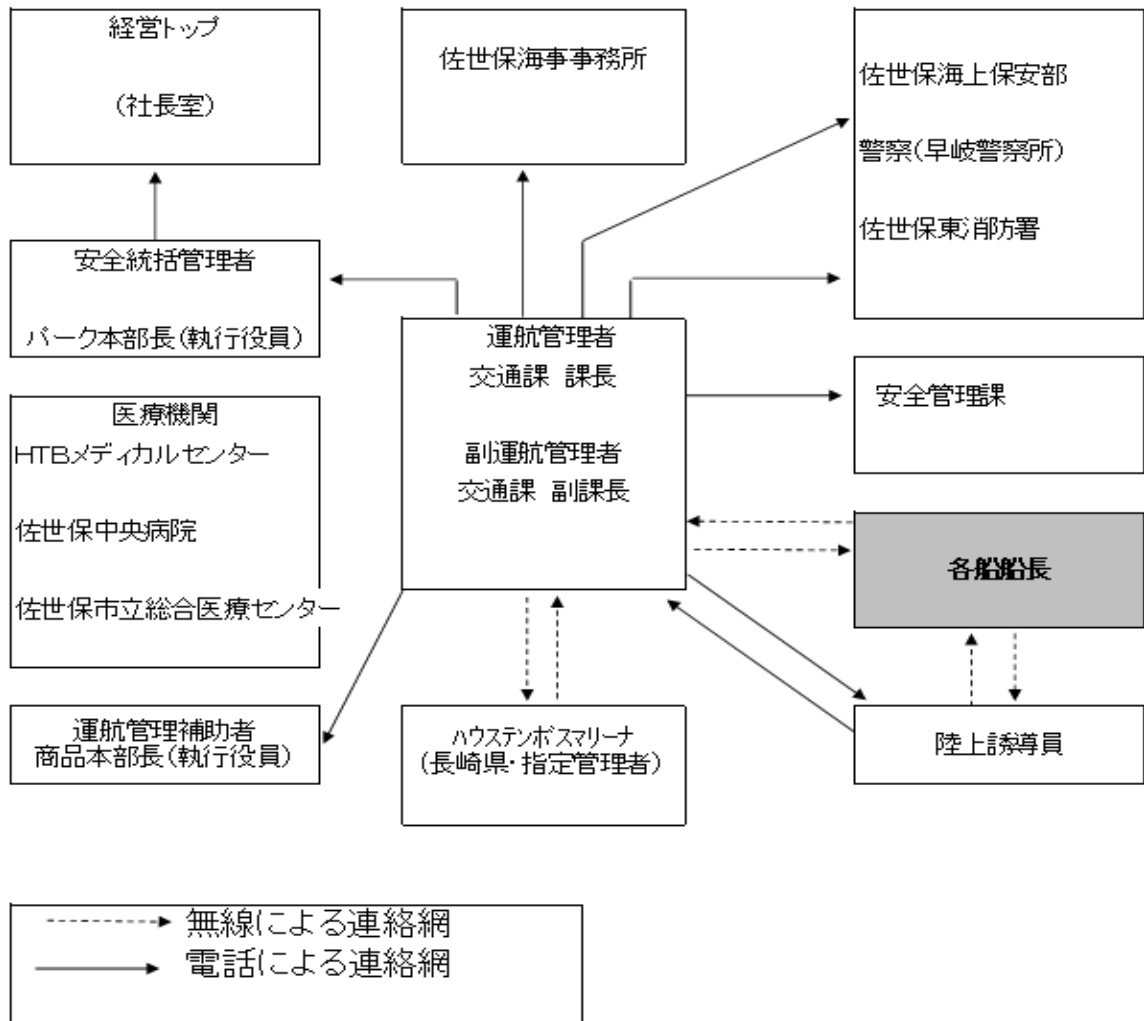
第 4 条 船長は、事故の状況を運航管理者に報告する場合は速報を旨とし、判明したものをから逐次通報することにより、次条の項目を網羅するよう心がけなければならない。

2. 運航管理者の海上保安官署等への連絡は、初動時は「118番」による。以後、別表 1 の「官公署連絡表」により最寄りの海上保安部、署、官、運輸局

等に行うものとする。

3. 運航管理者は事故が発生したときは、速やかに、事故の状況について判明したのから逐次電話（FAXを含む）又は口頭で運輸局等に報告するものとする。インシデントが発生したときは、被害発生に及ばないことを見極めた上、後日資料化するものとするが、同種事案が再発する可能性が高い場合は、遅滞なくその状況を運輸局等に報告するものとする。非常連絡事項を記載した報告様式（FAX用紙）を船舶及び事務所に備え置くものとする。
4. 非常連絡は、原則として次表によるものとする。ただし、事故の内容によっては、運航管理者の判断で運輸局等及び海上保安部を除き連絡すべき範囲を限定することが出来る。

### 非常連絡表



第5条 事故等が発生した場合の連絡は、原則として次の区分により行なうものとする。

(1) 全事故等に共通する事項

- ① 船名 ② 日時 ③ 場所 ④ 事故等の種類 ⑤ 死傷者の有無  
⑥ 救助の要否 ⑦ 当時の気象・海象

(2) 事故等の態様による事項

事故の種類		連絡事項
a	衝突	①衝突の状況（衝突時の両船の針路、速力等又は棧橋等への接近状況）
		②船体、機器の損傷状況
		③浸水の有無（ある時はd項）
		④流出油の有無（ある時はその程度及び防除措置）
		⑤自力航行の可否
		⑥相手船の船種、船名、総トン数、（用）船主 船長名（できれば住所、連絡先）－船舶衝突場合
		⑦相手船の状況（船体損傷の状況、死傷者の有無 救助の要否等）－船舶衝突場合
b	乗揚げ	①乗り揚げの状況（乗揚げ時の針路、速力、海底との接触箇所、船体傾斜、喫水の変化、陸岸との関係等）
		②船体周囲の水深、底質、及び付近の状況
		③潮汐の状況、船体に及ぼす風潮及び波浪の影響
		④船体、機器の損傷状況
		⑤浸水の有無（ある時はd項）
		⑥離礁の見通し及び陸上からの救助の可否
		⑦流出油の有無（ある時はその程度及び防除措置）
c	火災	①出火場所及び火災の状況
		②出火原因
		③船体、機器の損傷状況
		④消火作業の状況
		⑤消火の見通し

d	浸水	①浸水箇所及び浸水の原因
		②浸水量及びその増減の程度
		③船体、機器の損傷状況
		④浸水防止作業の状況
		⑤船体に及ぼす風浪の影響
		⑥浸水防止の見通し
		⑦流出油の有無（ある時はその程度及び防除措置等）
e	強取、殺人 傷害、暴行 等の不法行為	①事件の種類
		②事件発生の際の端緒及び経緯
		③被害者の氏名、被害状況等
		④被疑者の人数、氏名等
		⑤被疑者が凶器を所持している場合はその種類数量等
		⑥措置状況等
f	人身事故 (行方不明を除く)	①事故の発生状況
		②死傷者数、又は疾病者数
		③発生原因
		④負傷、又は疾病の程度
		⑤応急手当の状況
		⑥緊急下船の必要の有無
g	旅客、乗組員等 の行方不明	①行方不明が判明した日時及び場所
		②行方不明の日時、場所及び理由（推定）
		③行方不明者の氏名等
		④行方不明者の遺留品等
h	その他の事故	①事故の状況
		②事故の原因
		③措置状況

I	インシデント	①インシデントの状況
		②インシデントの原因
		③措置状況

### 第 3 章 事故の処理等

(船長のとるべき措置)

第6条 事故が発生したときに、旅客の安全・船体の保全の為に船長が講ずるべき必要な措置はおおむね次のとおりである。

(1) 海難事故の場合

- ① 損傷状況の把握、及び事故局限の可否の検討
- ② 人身事故に対する早急な救護
- ③ 連絡方法の確立（船内及び船外）
- ④ 旅客への正確な情報の周知及び状況に即した適切な旅客の誘導
- ⑤ 二次災害及び被害拡大を防止するための適切な作業の実施

(2) 不法事件の場合

- ① 被害者に対する早急な救護
- ② 不法行為者の隔離又は監視
- ③ 連絡方法の確立（船内及び船外）
- ④ 旅客に対する現況及び措置状況の周知と旅客の軽率な行為の禁止
- ⑤ 不法行為が継続している場合、中止を求める不法行為者への説得

(運航管理者のとるべき措置)

第7条 運航管理者は、通常連絡、入港連絡等の船長からの連絡が異常に遅延している場合又は連絡なしに入港が異常に遅延している場合は、遅滞なく船舶の動静把握のために必要な措置を講じなければならない。

2. 運航管理者は、前項の措置を講じたにもかかわらず、船舶の動静を把握できないときは、直ちに関係海上保安官署等に連絡すると共に、第4条（非常連絡）に従って関係者に通報しなければならない。

3. 事故の発生を知ったとき又は船舶の動静が把握できないときに運航管理者がとるべき必要な措置は、おおむね次のとおりである。

- (1) 事故の実態把握及び救難に必要な情報の収集及び分析
- (2) 海上保安部、署への救助要請
- (3) 行方不明者の捜索又は本船の救助の為に捜索船又は救助船等の手配
- (4) 必要人員の派遣及び必要物資の補給等
- (5) 船長に対する必要事項の連絡及び助言

(6) 医師、病院、宿舎の手配等の旅客の救護のための措置

(7) 乗船客の氏名の確認及びその連絡先への通知

第8条 事故処理の組織、編成、及び職務は次表のとおりとする。

事故処理組織票

役 職	職 務
経営トップ	総指揮
安全統括管理者 運航管理者	総指揮補佐又は総指揮
救 護 班 班長：運航管理者 交通課	事故の実態の把握、事故関係情報の収集、 船舶及び関係機関との連絡、救護の実施 その他救難に必要な事項に関すること
旅客対策班 班長：人事部長 人事部、管理部	旅客及び被災者の把握、被災者の救護 欠航便の旅客処理、その他旅客対策に関すること
庶務対策班 班長：管理部長 管理部、広報課	被災者の近親者への連絡及び世話、 報道関係者の応対（発表を除く）、救護関係物資の 調達・補給その他庶務に関すること

(医療救護の連絡等)

第9条 船長及び運航管理者は、船内に医療救護を必要とする事態が発生したときは、乗船者に医師がいる場合にはその医師の協力を要請することとし、不在の場合は別表2の「医療機関連絡表」により、最寄りの医師と連絡をとり、その指示のもとに適切な措置を講じなければならない。

(現場の保存)

第10条 船長及び運航管理者は、事故の処理後関係海上保安官署等と連絡を取りつつ、運航に支障がない限り事故の原因の調査を行なうとともに、事件の捜査の対象となる場所及び物品の保存に努めなければならない。

別表－1

官公署連絡表

名 称	住所及び電話番号
佐世保海上保安部 警備救難課	佐世保市 干尽町 4 番 1 号 佐世保港湾合同庁舎 TEL (0956) 31-6003 緊急時 TEL 118
九州運輸局 長崎運輸支局 佐世保海事事務所 運航労務監理官	佐世保市 干尽町 4 番 1 号 佐世保港湾合同庁舎 TEL (0956) 31-6165 緊急 090-7581-7038

別表－2

医療機関連絡表

名称	住所及び電話番号
ハウステンボス メディカルセンター	佐世保市ハウステンボス町 1 - 1 TEL (0956) 27 - 0328
佐世保市中央病院	佐世保市大和町 1 5 番地 TEL (0956) 33 - 7151
佐世保市立総合医療センター	佐世保市平瀬待ち 9 番地 3 TEL (0956) 24 - 1515